

水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省

土地・水資源局水資源部水資源政策課



中央左より、甲村技監
谷本水資源部長



平成22年8月2日(月)に、中央合同庁舎3号館正面玄関前にて「水の週間一斉打ち水大作戦」を国土交通省を実施しました。国土交通省の職員の手作りによる「打ち水」イベントも、今年で7回目となり、夏の恒例行事として知られるようになってきました。昨年度から、「水の日」「水の週間」に併せた全国一斉打ち水大作戦として取り組んでおり、今回の国土交通省で実施した取り組みも、その一つです。打ち水は、原則として、お風呂の残り湯や下水再生水などといった二次利用水を活用するため、水資源の有効利用に結びつくだけでなく、ヒートアイランド対策にも貢献する取り組みとして、近年見直され、注目を浴びています。

当日は、甲村技監をはじめとして約160名の方々にご参加いただきました。また、水の週間に関連する表彰式を国土交通省内で執り行った関係で、今回はじめて、全日本中学生水の作文コンクール、水資源功績者、水とのふれあいフォトコンテストの各受賞者等の方々にもご参加いただきました。浴衣姿で参加いただいた女性職員が約20名にも及び、大変賑やかな打ち水イベントとなりました。

打ち水に使用する水は、東京都下水道局より下水再生水を約400リットルご提供していただくとともに、国土交通省職員が自ら、庁内のお風呂の残り湯、約70リットルを準備致しました。



作文コンクール
受賞の中学生

東京都水道局
の皆さん



連日真夏日が続き、8月2日当日も大変暑い中での開催となりましたが、甲村技監の「打ち水はじめ〜!!」の号令とともに撒かれた水は、あつという間に広い駐車場を埋め尽くしました。10分程度の打ち水でしたが、みんなで一斉に行った結果、温度は開始前の37.0度から36.0度へと、1.0度下がりました。会場には涼しい風が吹き抜けていきました。

また中学生の皆さんには、少し恥ずかしそうな面も見受けられましたが、次第に職員ともうち解け、楽しみながら水の大切さを知って貰えたかと思っております。皆様も、この機会にご家族やご友人と打ち水を通じて、水の大切さについて考えてみてはいかがでしょうか。



37.0℃から36.0℃に下がりました!